

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-29 あおぞら園管理運営事業 □支援部門						
主管課	発達支援室	関連課	こどもみらい課・保育課・こども相談課・市民健康課・教育指導課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	障害児の専門支援機関として、一層の機能充実を図っていく。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
事業の対象者数	6,013人	6,031人	5,909人				
運営資源状況	決算値(千円)	42,330	42,646	34,582	・一般財源の(一)表示は、 国・県からの施設給付費等 が人件費を含んでいるため		
	(国・県)	68,611	69,237	67,692			
	(負担金等)	4,788	4,740	5,043			
	(一般財源)	-31,069	-31,331	-38,153			
	人員配置数	16.6人	17.6人	18.6人			
	人件費(千円)	141,698	151,524	167,296			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	184,028	194,170	201,878	・事業の対象者数は年間延べ利用件数 ・開園日数(H24年度・228日(予定)、H23 年度・223日、H22年度・221日、H21年 度・218日、H20年度・227日、H19年度・ 227日、H18年度・227日)		
	市民1人当りの経費(円)	1,039	1,096	1,143			
対象者1人当りの経費(円)	30,605	32,195	34,164				
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
延べ利用件数	◎	目標値	5,951人	5,901人	5,820人	6,156人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	5,909人	6,031人	6,013人		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統縮小 E: 廃止・休止
あおぞら園運営事業	20,685千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	知的発達等に躓きのある幼児に対し、保護者と情報交換しながら日々児童指導員、保育士等が集団生活や遊びを通して基本的な生活習慣や社会性の発達を援助する。				
あおぞら園管理事業	21,645千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	あおぞら園の施設管理及び通園バスの運行に係る経費を執行する。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	障害児の専門支援機関として、その専門性の蓄積、継承や人材育成のハブ施設となりえるよう一層の充実を図る。 また、児童福祉法の一部改正(平成24年4月1日施行)において、知的障害児通園施設など障害児通園施設は、児童発達支援センターに位置づけられることとなったため、条例等の改正が必要である。 指標の目標値を、(定員(30人)×過去3年間の開園日数(各年度ごとの開園日数は事務事業運営経費の備考欄に記載))に対する出席率に、当該年度の定員(30人)×開園日数を乗じて得た数)に設定した。
課題解決のための取組	あおぞら園人材育成プログラムに基づいた、園内職員研修及び関係機関職員の研修や視察等の積極的受け入れの他、ボランティアについても、高校生や大学生を中心に積極的に受け入れてきた。また、児童福祉法の一部改正に基づく条例等の改正を行った。
未解決の課題	児童発達支援センターとして、従来の通所利用の障害児への支援に加えて、新たに保育所等訪問支援、障害児相談支援などの地域支援を実施することが求められていることから、それらの支援を行う多機能型事業所として、今後のあり方の検討が必要である。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
	➡	②妥当性 ○		➡	課長等名
		③有効性 ○		A	発達支援室長
		④公平性 ○			安田 明

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
あおぞら園運営事業	主な個別事業	80 嘱託医報酬	1,072	1,071	■適切 □見直し余地あり
		80 栄養・給食等嘱託員報酬	5,616	5,375	■適切 □見直し余地あり
		80 臨時的任用職員賃金	4,212	3,198	■適切 □見直し余地あり
		80 給食賄材料費	4,836	4,618	■適切 □見直し余地あり
		80 給食食材放射性物質濃度測定賄材料費	0	5	■適切 □見直し余地あり
		80 給食食材の放射性物質濃度測定手数料	0	154	■適切 □見直し余地あり
		80 普通傷害保険料	406	405	■適切 □見直し余地あり
		80 保育士派遣委託料	3,307	4,885	■適切 □見直し余地あり
		80 県社会福祉協議会会費負担金	25	25	■適切 □見直し余地あり
		80 市社会福祉協議会会費負担金	3	3	■適切 □見直し余地あり
あおぞら園管理事業	主な個別事業	81 光熱水費	2,862	2,278	■適切 □見直し余地あり
		81 修繕料	1,342	1,334	■適切 □見直し余地あり
		81 自家用電気工作物保安管理等手数料	507	395	■適切 □見直し余地あり
		81 土壤放射性物質濃度測定手数料	0	15	■適切 □見直し余地あり
		81 総合施設管理業務委託料	5,670	5,670	■適切 □見直し余地あり
		81 警備委託料	115	114	■適切 □見直し余地あり
		81 通園バス運行委託料	11,202	11,005	■適切 □見直し余地あり
		81 自動ドア保守点検等委託料	149	149	□適切 ■見直し余地あり
主な個別事業	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
主な個別事業	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
主な個別事業	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり